

おかげさまで創立65周年



西尾ロータリー Weekly

2022-23年度 鳥山会長テーマ ～持続可能な未来への足がかり～
第3080回例会 令和4年9月13日(火) 天気:晴 No.9

2022-23年度
RIテーマ



イマジン
ロータリー



会長 / 鳥山欽示 幹事 / 山崎克弥

クラブ会報委員 鳥居慶輔 / 松本容明 / 矢橋和也 / 羽佐田芳和

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:http://www.nishio-rotary.org

【本日のプログラム】

司 会 本田正則例会運営委員長 斉 唱 「奉仕の理想」
スピーカー 地区米山奨学委員会 委員 浅倉伸治 君 (豊橋RC)
「米山記念奨学事業の現状とウィズ・コロナでの今後の課題について」
食 事 レストラン さかえ



【会長挨拶】



米山制度について委員会からのお話とは別に、調べてきたことを少しお話しします。まず、米山とは米山梅吉さんの名前から取られています。彼は1867年、明治維新の頃に東京で生まれました。生まれてすぐに母親の実家である静岡県長泉町に移り幼少期を過ごします。沼津中学校卒業後、現在の青山学院に進学され、20歳から8年間アメリカに留学します。その時、縁あり現地のロータリークラブにゲストとして参加していました。帰若いころは勝海舟の指導も受けています。井上馨の推薦で三井銀行に就職し、要職を占めていきます。その後、彼が中心となり32歳の時に、世界で855番目として東京ロータリークラブを設立します。その後も活躍され、貴族院議員等も務められ、78歳で没せられます。彼は晩年、長泉町に別荘を作り、そこが今は米山梅吉記念館になっています。幼年期を過ごした長泉町をこよなく愛していたのでしょう。余談ですが、1883年に中島董一郎という人物が西尾市今川町で生まれました。彼は事情があって西尾を11歳位で離れて東京に行き、ヨーロッパへ留学し、帰国後会社を興しました。それがキューピーです。同時にアヲハタという会社も作っています。西尾にも色々な恩返しをされているそうです。

最後に、西尾クラブの奨学生の受入状況を調査したところ、前回田中先生がおもり役で中国の医学を志す優秀な青年を受け入れて面倒を見ていました。奨学生はどちらかというと技術職が多く、後に母国に帰り成功されて現地のロータリーに入られる等国际親善に一役買うというストーリーがあると思います。ここ数年は受け入れていませんので存在が遠いですが、米山梅吉さんが米山奨学基金制度を作られたということです。

【委員会報告】

〈出席委員会〉榊原茂太郎委員長

本日の出席数 61名

欠席数 11名

出席率 84.72%

〈スマイルボックス委員会〉犬塚富雄委員長

浅倉伸治君(豊橋RC) 本日は宜しくお祈いします。

鳥山欽示君 地区米山奨学委員会 浅倉様、本日は宜しくお祈いします。

山崎周彌君 3ヵ月振りにゴルフのプレーが出来ましたが、途中でズルして残念でした。

山崎克弥君 地区米山奨学委員会 浅倉伸治君のご来訪を歓迎致します。卓話、宜しくお祈い致します。

杉浦 広君 浅倉さん、本日卓話よろしくお祈いします。

杉田明弘君 山崎克弥幹事の早対応、早い決断に感謝です。

三浦康彦君 お陰様で34年皆出席、Eクラブにメーキャップで助かります。100字コメントで西尾のニュースを伝えていきます。

犬塚宣明君 20年皆出席です。有難うございました。

羽佐田芳和君 19年皆出席です。お客様と従業員、そして健康に感謝です。

平田兼久君 皆出席15年出来ました。楽しく出席できました。クラブの皆様と家族に感謝です。

大内基浩君 13年皆出席出来ました。前年度幹事と言う事もあり頑張りました。有難うございます。

松田茂治君 13年皆出席出来ました。引き続き宜しくお祈い致します。

岡田光祥君 10年皆出席ありがとう。これも皆様のおかげです。

神谷 明君 3年皆出席です。

お陰で今日は元気です。

杉浦竜基君 皆出席9年連続出来ました。有難うございます。
永江義澄君 皆出席いただきました。5年です。大変お世話になり有難うございました。これからも頑張ります。宜しくお願いします。
杉田武男君 浅倉先輩お世話になっております。本日の卓話宜しくお願い致します。
鳥居祥雄君 誕生日のチーズとても美味しかったです。
本田正則君 例会運営の本田です。本日はお弁当の到着が遅くとも心配しました。本当に申し訳ありません。
犬塚富雄君 本田さん、冷や汗をかいたようですが、良かったですね。



〔卓話〕

地区米山奨学委員会 委員 浅倉伸治 君（豊橋RC）

「米山記念奨学事業の現状とウィズ・コロナでの今後の課題について」



日頃は米山記念奨学事業へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。西尾RCは累計奨学生6名を受け入れ、普通寄付金と特別寄付金は合算累計5170万円超となっています。

米山記念奨学事業は1952年、日本最初のRCを設立した米山梅吉さんの功績を記念して設立された外国人留学生を対象とする日本最大規模の奨学制度です。今年設立70年を迎えました。2021年度の奨学生は910人、世界で累計22267人を受け入れています。出身国は中国・韓国・台湾の3カ国で約7割を占めますが、近年はベトナムの奨学生が急増しています。財源は基本財産と特別積立財産、流動資産等を足した100数億円の財産を利回り0.5%程度で運用して管理費を賄い運営しています。皆様からの寄付は奨学金として使っていますが、新型コロナウイルスの影響や円安、世界経済の状況により不透明感が増しており、今後もこの事業規模を維持・発展できるかは混沌としています。

事務局を通じて1人あたり年間5000円を頂戴している普通寄付金は、年間900人前後の奨学生を世話するための安定財源です。特別寄付金は個人・法人より任意で頂戴しており、前年度50万円を頂戴しています。寄付には表彰制度があり、個人は累計10万円のご寄付で米山功労者として表彰されます。税制優遇措置もあり、個人の場合は税額控除と所得控除のどちらかを選ぶことができます。税額控除は寄付額から2000円を引いた残りの40%の額、所得控除は寄付額から2000円を引いた残りに所得税率を掛けた額ですが、寄付金控除を受けるには税務署への確定申告が必要です。法人寄付の場合は法人税及び地方税が軽減されます。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染拡大は米山奨学生の活動にも大きな影響を与えています。地区において米山奨学生のロータリー活動への参加義務は、①月1回クラブの例会、②春秋に行われる研修活動、③学友会総会、④年末家族会、⑤3月の学友会歓送迎会、⑥WFF、⑦その他地区委員会、世話クラブの規定する出席義務等がありますが、昨年は2回の義務行事以外ほぼ実施できませんでした。各クラブでも休会が相次ぎ、ほとんど交流がないまま1年を過ごした奨学生も多かったです。空港の隔離や入国制限等で帰国も出来ず、入学に合わせ日本に戻ることもままならず、9月頃まで世話クラブに挨拶すら行けない奨学生も数名いました。学業にも大きな影響を及ぼし、1年の半分以上がリモート授業、ゼミや研究室での勉強も時間的制約等があったそうです。コミュニケーションの場が少ないために精神的に孤独になるケースも多く、メンタル面でのケアを必要とする事例もいくつか発生しました。今こそロータリアンと奨学生との意識共有を密にして、課題を乗り越え、先人ロータリアンたちの思いを継承していかなければなりません。

米山記念奨学委員会は、国際奉仕の1つとして米山奨学生を育てています。芽が出るまでに時間はかかりますが、引き続きご理解・ご協力を賜り、皆様の力で1人でも多く平和の懸け橋となる人材を国際社会へ送り出していきたいので、積極的なご協力・ご支援をお願い致します。奨学生の受け入れは、奨学生の母国への理解を深め、様々な知見を深める絶好の機会です。あるクラブではカウンセラーに入会歴の若い会員を指名しています。これはロータリーが誇る事業への関りを深め、ロータリアンとしての自覚をもち、奨学生との交流の中でロータリーの楽しみ方、学び方に、新しい視点で取り組むことが出来るヒントを得られるからだと思えます。